

1章：投資の効果について

分散投資の効果について

分散投資とは、様々な国や地域の資産（株式、債券、通貨など）へ投資先を分散することでリスクを抑制（プラスもマイナスも含む利益の振れ幅を小さく）する投資手法です。

投資対象は国内だけではなく、世界に広がられます。国内の景気が悪いときでも、世界には景気の良い国もあります。様々なリスク要因(景気、為替、金利など)が収益にプラスに働いたり、マイナスに働いたりします。それぞれの資産が異なる値動きをすることで、リスクを抑制することができます。

例

- ・比較対象 1：資産配分「日本株式 Index」100%
- ・比較対象 2：資産配分「GPIF 参考 Portfolio」(※)
- ・Y 軸：「固定」
- ・期間：「20 年」

1 種類の資産へ投資した場合、リターン及び資産の成長額のブレ幅は大きいですが、複数の資産(株式、債券、通貨など)へ分散投資していれば、リスクを抑制し、緩やかな資産成長が期待できます。



※)「GPIF 参考 Portfolio」とは、「GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)」の基本ポートフォリオ(資産構成割合は日本株式 25%、日本債券 35%、世界株式 25%、世界債券 15%)です。